

管理センター(放流調整池)について

札幌市水道局

管理センター（放流調整池）の概要

○ 目的と概要

バイパスした河川水をそのまま放流すると、放流地点下流のヒ素濃度が上昇し水質が悪化するため、放流前にヒ素を一定程度除去するための管理センター（放流調整池）を設置します。

水質は、現状と同程度に維持することとし、下流の藻南橋地点に設けられている環境基準補助点※（下図位置関係参照）において環境基準値を年平均で超過しないことを目標としています。

※環境基準補助点とは

環境基準点（水域の水質汚濁状況が把握できる点）を補間するため、比較的総延長の長い河川等に設置する点

○ ヒ素の除去方法について（右図処理イメージ参照）

管理センター（放流調整池）では、ヒ素を除去する方法として、「凝集沈^{でん}澱処理」を行います。

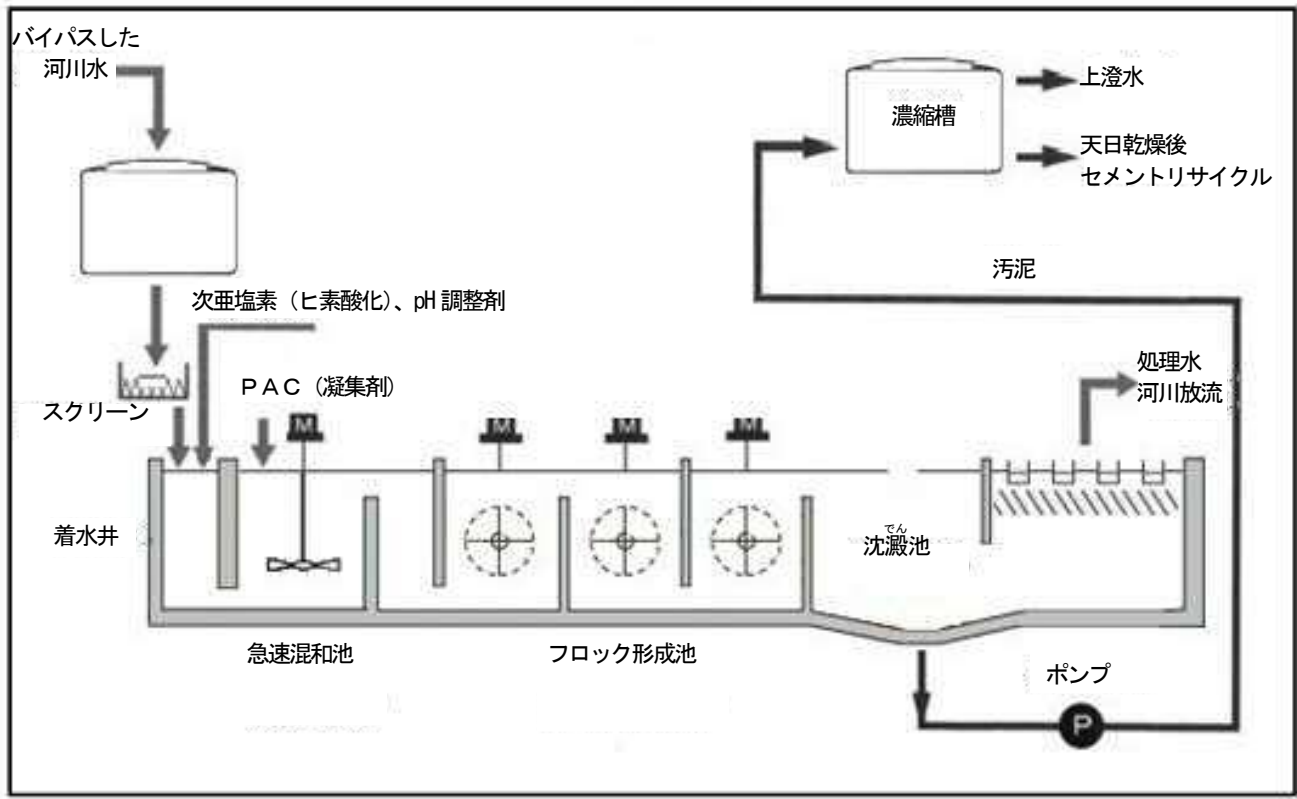
この処理は、凝集剤（PAC）と呼ばれる薬品を入れてかき混ぜることで、小さな粒子として水中に存在しているヒ素を凝集し、フロックと呼ばれる大きなかたまりにして沈^{でん}澱させることで水中から除去する方法です。

この処理で、バイパスした河川水中に含まれるヒ素の8割以上を除去できます。

○ 汚泥の処分について

管理センター（放流調整池）で処理を行うと、ヒ素を含む汚泥が発生します。発生した汚泥は、天日乾燥床で乾燥させて道南のセメント工場で「セメントリサイクル」することを予定しています。

管理センター（放流調整池）での処理イメージ



バイパス施設と環境基準補助点（藻南橋）の位置関係



地理院地図を編集・加工